



第45回全国豊かな海づくり大会～魚庭（なにわ）の海おおさか大会～
「大会テーマ」入賞作品について

『最優秀賞』 1作品

「響かせよう 豊かな海の ハーモニー」		
テーマの説明	海に棲む生き物が豊かに育っているところを表現してみました。	
審査委員講評		応募者
「響かせる」「ハーモニー」と聞こえ方が良く、豊かな海を想像させる。海にまつわる様々な協調活動が連想される「ハーモニー」というワードが高く評価される。		愛知県 60代 神納 清次

『優秀賞』 3作品

「つなげよう 海の豊かさ 夢・未来」		
審査委員講評		応募者
海の豊かさが表現されており、未来に向けて夢あふれる大会となるよう示されている。呼びかけの一句目と、末句の体言止めも効果的である。		千葉県 50代 堀 卓
「豊かな海に 集う人の和 笑顔の輪」		
審査委員講評		応募者
海の恩恵に感謝し、皆で豊かな海づくりを進めていく自発的なメッセージが感じ取られる。		東京都 50代 保岡 直樹
「さあ、とも（共）に 守りつなごう 豊かな海」		
審査委員講評		応募者
豊かな海を次世代につなぐにあたって、みんなで進めていくというメッセージになる。		石川県 60代 坂 秀明

『佳作』 5作品

「この海を 豊かなままに 未来まで」		
審査委員講評		応募者
子どもから大人まで幅広い世代が理解できるわかりやすい表現である。		埼玉県 50代 ペンネーム 青水 柚樹
「人びとが ^{つど} 集い ^{はぐ} 育くむ ^{あす} 未来の海」		
審査委員講評		応募者
多くの人が海の大切さを知り、資源環境を守っていくことが伝わる。		大阪府 70代 小菅 弘夫
「青い海 守れば育つ 海の幸」		
審査委員講評		応募者
環境保全と食料との両方の観点から、親しみやすく入っているところが良い。		静岡県 80代 松島 勝
「世代こえ 未来へつなぐ 青い海」		
審査委員講評		応募者
みんなが豊かな海を引き継ぐんだという強さを感じる。		広島県 80代 黒飛 義竹
「未来へと 贈るこの海 宝箱」		
審査委員講評		応募者
歴史上、日本漁業の先進地であった大阪の漁業の素晴らしさを未来につないでいくという視点が良い。		大阪府 60代 藤田 義明